



郷土の歴史
339

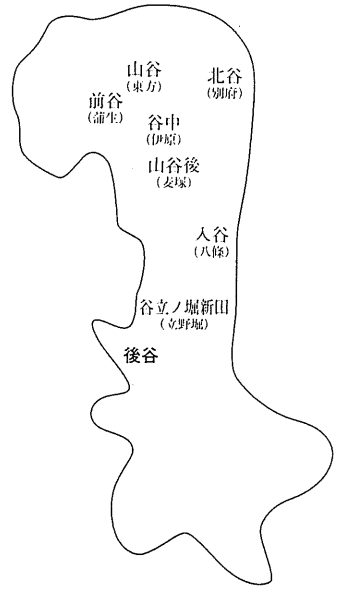
南後谷の地名 その昔

後谷 現八潮市大字南後谷の俗地名。
南後谷は、ウシロヤと俗称されるが、明治十二年までの後谷村の名残の呼称である。
後谷の地名は、八條郷(八條谷)の湿地の後谷に位置する事に因むと言われる(八潮の民俗資料二)。近世八條郷の中で、「谷」地名がつくのは、「谷地名分布図」の通りである。後谷は、入谷の対語か、前谷の対語かは定かでないが、古綾瀬川の上流

に前谷(越谷市蒲生)が見られるので、郷の前後の位置を表す地名と見られる。なお八條郷の中で、後谷は、南限の谷地名である。
(中期) 室町期の後谷は、真言宗西福寺が、明治十二年の『社寺明細帳』に「開基帷音 嘉吉三年(圖)中造立ト申伝」と記される中世寺院である。西福寺境内の入口のタブノキは、推定樹齢六〇〇年と言われ、開山のおりに植えられたと伝える(八潮市史民俗編)。後谷には、旧家とし

て小櫃家と会田家がある。小櫃氏は佐渡の守護代本間六郎左衛門重連の一族と伝え(『新編武蔵風土記稿』)、本間六郎左衛門重貴のおり上総国小櫃郷に住して、慶長年中に後谷に土着して小櫃と改姓し、後谷村の名主となる(小櫃家文書・藤波家文書)。旧本間家屋敷跡は、九反歩の屋敷地で周囲は堀で巡らされる中世の館跡で、『埼玉の中世城館跡』、その敷地の一部に八潮市立資料館が平成元年に開館した。後谷会田家は、鉢形城主北条氏邦の家臣で、北条氏の北条氏房が岩付城主となった時、北条家からの付人として岩付に仕え、後谷に住したと伝える(『新編武蔵風土記稿』)。
後谷村 近世から明治十二年までの村名。
後谷は、綾瀬川左岸の沖積地に位置し、自然堤防上に近世集落が発展した。
近世初頭は、騎西郡八條之内後谷

八條領の谷地名分布図



村、正保年中に埼玉郡八條領後谷村となる。支配は江戸初期は幕府領、寛文十年(一六七〇)土井能登守領、天和二年(一六八二)に幕府領に領し、幕末まで代官支配を受ける。村の区域は、東西三町・南北八町の村であった。総検地は寛永四年(一六二七)と貞享元年(一六八四)、新田検地は宝暦二三年(一七五二・五三)に受ける(藤波家文書)。村高三七四石四斗七升一合、反別三九町六反二畝二九歩、内田が二八町二反五畝一五歩の水田優位の村落。石盛りは、田が上一・中九

・下六・下々五、畑が上九・中七・下五・下々四・屋敷一〇、高外れ地として茅野九畝二三歩、雑木林一反四畝二九歩、柳原四反九歩、竹やぶ一反一畝六歩。除地としては西福寺境内社として四反七畝があった。
明治期の後谷村は、明治二年に小菅県、同四年に埼玉県となる。同十二年の郡制の実施に伴い、同郡内に同村名が所在したことにより、南埼玉郡南後谷村となる。

文芸欄

呉美代選

詩

酔芙蓉 八條 杉村知香
早朝、白い蕾がふくらみはじめ
やがて初々しいピンクの花になる
しかし時間が経つと
濃密なエンジに変わって
夕ぐれとともにくたたりしてしまう
はかない一日限りの花よ
白い蕾は十才くらい少女のよう
満ちてくるピンクの花は娘盛り
深いエンジは人生でいうと田熟期
そんな花も
いつのまにかしぼみはじめる
「いま花は私たちの年ごろなのね」
私たちは黙って芙蓉の花を見つめた
《評》花の移り変わるようすを、女性の人生に重ねたのが、おもしろいと思います。

短歌

鶴ヶ曾根 安藤知晃
琥珀色のワイングラスを満たす宵
籠の鈴虫やおら鳴き出す
柳之宮 栗原幸子
峠へえしき降る雨に吾が車
恋いて急げり白布の湯宿
八潮八 浅田淑子
尊氏の植えた萩が秋風に
そよおるなり滋賀の古寺
二丁目 田中忠
雨晴れて今宵さやかに月の影
虫の鳴く音に秋は更けゆく
南後谷 杉村セツ
鈴虫は羽音ふるわせ暑き日に
涼しさを呼ぶ愛らしき虫
古新田 横田八重
手を上げてよちよち歩く孫の顔
微笑み浮べて祖母にすがりぬ

俳句

南川崎 小野塚喜代子
絡まりて屋根まで繁る藤蔓の
小さき畑の光を薔ふ
大曾根 宗像ゆき子
千代紙の友禅模様で折りに見る
紙風船はかろうき音しぬ
八潮五 林悦子
信濃路に茶の碑あり我もまた
萩の花見て指を折るなり
二丁目 田中祐子
心まで清くなりてわが腕に
なすがままなる姑の入浴
木曾根 高谷多門
迎え火も送り火も過ぎ寺庭も
散るを知らざる百日紅は
二丁目 田中元三
自閉症と言われし子の歓声が
鮎釣り上げし釣堀に沸く
《評》不完全な作品がいくつもありました。推敲を十分になさって下さい。

俳句

二丁目 平井石龍
早喰いは軍隊仕込み敗戦忌
自販機の缶が転がる秋の声
中央一 山角微陽
秋の蟬一期一会の茶に座る
鎮魂や近くて遠き国後島
八潮七 小倉孝義
雨降りて雨は静かに秋運ぶ
用水の水かさ減りて夏去りぬ
鶴ヶ曾根 斎藤道子
酔芙蓉紅深めゆく午後三時
傘ほどの芋の葉がす野分あと
八潮七 石井忠枝
葉ののせて熟れしいちじく貰いけり
柳之宮 加藤龍子
道端の小草実こぼれ秋日和
小作田 藤波ふみ
鶴ヶ曾根 平本愛子
食卓に秋の彩そえ客を待つ

俳句

西袋 鈴木厚子
行く夏を惜しむが如し蟬時雨
八潮七 鈴木義鳳
プラタナスお役目済んで坊主刈り
大曾根 椎野さち子
草いきれ立ち入る人も佇みて
柳之宮 尼ヶ崎友江
別れ来し友よりの野ぼたん花開く
中央三 宇津木勝子
遠き日の母の温もり鳳仙花
八潮五 西森八重子
大いれはこそ触れて行く径の秋
大曾根 小倉義孝
苺職の高き足場や日脚伸び
坊 沼野あい
情念の炎に似て曼珠沙華
半月を宙に残して白む朝
鶴ヶ曾根 斎藤初子
手にとればすねて弾けて鳳仙花
人影のなきグラウンドの残暑かな
《評》発見的な句をお待ちしています。

草加市

○奥の細道文学賞表彰・記念講演会
日時 10月11日(日)、午後1時から
会場 草加市文化会館
内容 奥の細道文学賞表彰、国文学者ドナルド・キーンさんによる講演会、女声合唱のための「おくのほそ道」抄合唱。
費用 入場無料(整理券必要)
問い合わせ 草加市コミュニティ・文化課 ☎22-0151

三郷市

○男女映像フォーラム
日時 11月7日(土)、午後1時～4時30分
会場 鷹野文化センター
内容 映画「タペの星」上映後、コーディネーター松本侑子さんを迎えてのフォーラム
交通 武蔵野線三郷駅から金町駅行きバスで「八木郷橋」下車徒歩3分
定員 200人(申込順)
問い合わせ 女性政策課 ☎53-1111

行ってみたいな となりまち

近隣4市1町のイベント情報をお届けします。
ぜひ、お出かけください。



吉川市

○第6回バスケットボール大会
日時 11月22日(日)・23日(月)
会場 吉川市総合体育館(駐車場あり)
対象 中学生・高校生・一般
対員 先着32チーム(1チーム5人以上)
参加費 中学生1000円、高校生・一般1500円
申込・問い合わせ 10月25日(日)までに費用を添えて吉川市総合体育館 ☎82-6800

松伏町

○松伏町優良従業員表彰式記念講演
日時 11月21日(土)、午後1時開演
会場 中央公民館「田園ホール・エローラ」
内容 優良従業員表彰式及び荒井稔氏(順天堂大学医学部講師)による講演「現代のストレスとどうつきあうか」
費用 無料
申込・問い合わせ 電話で申し込みください。商工課 ☎91-2711・商工会 ☎92-1771

越谷市

○市制40周年記念
「第24回越谷市民まつり」
日時 10月25日(日)、午前9時～午後4時
会場 越谷市役所周辺
内容 ミスこしがやコンテスト、交通安全パレード、フリーマーケット、各種模擬店の出店など
交通 東武伊勢崎線越谷駅下車徒歩7分
問い合わせ 市民まつり実行委員会(市役所交通防災課内) ☎66-2111



南後谷の地名 その貳

南後谷村 明治十二年から同二十二年までの村名。
明治十二年の郡制の実施に伴い、南埼玉郡内に同村名の後谷村(越谷市北後谷)が所在したことにより、村名を区別するために、南埼玉郡南後谷村となる。
郡制施行前(明治九年)ごろの村勢は、戸数三軒、人口一八五人、牛馬二頭であった。産物は、米五九八石余、大麦六九石余、小麦一〇石余、大豆一四石余、藁籾二万枚など

九年は三六〇六人となる。
字地(江戸期) 江戸期の小名(集落地名)は不詳。貞享元年(一六八四)の検地帳(『藤波家文書』)によると、さまざまな地名が記される。貞享元年の後谷村の検地は、領主土井能登守利房が天和二年(一六六二)三月に越前国へ領地替えになり、幕府領に服したことにより行われた。検地役人は、代官伊奈半十郎忠篤の家臣牛込弥三郎・山浦加右衛門、近山与右衛門正友の家臣久保川幸右衛門らであった。検地帳は五冊に分冊され、そのうちの三冊が田畑、あとの二冊は屋敷地と雑種地からなる。その外、後谷村の新田検地帳が四冊ある。これらの検地帳に記される地名は、次のとおりである。
後谷村の田畑を記す貞享元年(一六八四)三月二十二日の『武蔵国埼玉郡八潮後谷村新田検地帳』の地名は、『綾瀬川堤外』の三筆(八反二七歩)、宝暦三年(一七五三)八月の『新田検地帳』は同じく綾瀬川堤外の七九筆(二町一反九畝六歩、天明二年(一八二二)

・つふた)・西田・粒田北わり・堤外・綾瀬川通り・八幡裏・長右衛門前・根通り・九反田などで、三八町九反三畝七歩の田畑が記される。同年の『屋敷検地帳』には、屋敷一七筆(六反九畝二歩、外に八幡社地(九畝歩)、西福寺地(三反歩)が記されるが、地名の記載はない。同年の『柳原萱野林沼検地帳』には、綾瀬川堤外・庄兵衛曲輪・粒田堤外・屋敷通りなどの地名が見える。柳原が一四筆四反二歩、萱野二筆(九畝二七歩)、維木林五筆(一反四畝二九歩、竹藪六筆(一反一畝六歩。その外に『沼三反 郷中抱』と『山王宮林 八畝歩 無年貢 別当西福寺』の地積が記される。次に新田検地帳では、宝暦二年(一七五三)七月『武蔵国埼玉郡後谷村新田検地帳』の地名は、『綾瀬川堤外』の三筆(八反二七歩)、宝暦三年(一七五三)八月の『新田検地帳』は同じく綾瀬川堤外の七九筆(二町一反九畝六歩、天明二年(一八二二)

九月の『新田検地帳』に一筆の「字次兵衛とふ一沼田三反二六歩 村請」と見える。これは貞享元年の検地帳の沼の開墾地である。天保五年(一八三四)九月の『新田検地帳』に字堤外の九筆の目付田(三反九畝三歩)が記録される。
(明治期以降) 地租改正に伴う明治六年ごろの字地名は、根通・庄兵衛曲輪・粒田北割・綾瀬川通り・八幡裏・長右衛門前などがあつた。そして現在の公図上の字地名には、粒田南(一六八八番地、粒田北(六九三番地)、東(五四七五九番地)、二番地(一〇〇八七四番地)、堤外(八七五九七番地)、天神耕地(八五九八六番地、重複番地)、堤外川下(二二三八番地)となっている。なお(一)内の番地は、現南後谷の地番。

文芸欄

呉美代選

詩

弁当箱 八潮五 広瀬キク江
台所の引き出しの奥に
懐かしい小判型の弁当箱を見つけた
四十五・六年前の小学生のときのだ
「これも嫁入り道具の一つよ」と
母が笑いながら持たせてくれたのだ
弁当箱を手にすると
当時の小学校が現われ、教室には
先生や友だちがいて私たちは
みんなで学芸会の練習をしている
やがて輪になって弁当箱をひらいた
突然、けたたましい音が鳴る
夕刻を告げる公園のチャイムだ
私はわれに帰って夕餉の支度をする
目の前に亡き母の微笑がひろがった
「評」イメージがゆたかにひろがり、お母
さまを思い出されたのはよかったですね。

短歌

二丁目 田中元三
災害の爪あと消えぬ此の里に
哭ぐがごとくに秋風の音
二丁目 田中忠
四万川に紅葉映して釣る翁
笠に止まりし蜻蛉動かず
南川崎 松谷永子
街路樹に寄り添うごとくむらがりて
空を仰ぎて咲く彼岸花
南後谷 杉村セツ
文化祭励みとなりて年重ね
輪を広げつつ生き甲斐を知る
西袋 鈴木厚子
暮色濃く花は見えねどかすかなる
香りさわやか金もくせいはいは
中央三 新妻美佐子
とりどりに咲きし花はな胸に抱き

俳句

豊かになりぬわが心まで
大曾根 宗像ゆき子
優美なる女の真心詠みし人
いまは亡きとぞ香焚き参らす
八潮三 豊田好一
傘寿すぎ我れ六人の孫の居て
伸び行く姿我れは嬉しく
浮塚 金子壽一
我が筆の跡とどし不揃いの
行書の文字がおどろき遊べり
八潮七 鈴木義鳳
秋刀魚焼煙の出ないコンロ見て
昔想いつつ大根を下ろす
二丁目 田中祐子
緊張し頬あからめて息子の嫁は
姑と真顔で指相撲せり
木曾根 高谷多門
年ごとに遠くになりしふるさとで
迎えてくれしは彼岸花のみ
「評」残念ながら載せられない作品もあり
ました。よく検討ください。

二丁目 平井石龍
運動会終えて机に子の賞状
冷蔵庫冷える間もなき子沢山
八條 杉村知香
買ひおきて差さず過ぎぬ秋日傘
街道に紅葉一本聳え立ち
八潮六 藤崎政子
風抜ける路地にさんまの匂いあり
小作田 藤波ふみ
夜雨降る句帳に一句秋灯下
鶴ヶ曾根 平本愛子
秋雨に喪服の人の傘の列
坊 沼野あい
満たされて真昼の風呂に秋思う
八潮七 小倉孝義
海見ゆる勿来の関や秋深む
柳之宮 加藤龍子
秋晴れや手びさして見るとんびの輪

八潮五 西森八重子
妻の病む男世帯の身にしみぬ
柳之宮 尼ヶ崎友江
庭の柿まずは一先祖へお供えし
八潮七 石井忠枝
稲架はずし老い二人いる睦まじさ
八潮八 浅田淑子
制服を着れば凛々しく見ゆる孫
中央三 宇津木勝子
降る雨に萩の花散り秋深む
南後谷 小田三重子
虫の音も消えて冷気の肌にしむ
西袋 小澤せん
名月や良人の影追う流れ雲
八潮五 林悦子
咲き盛りグレンデ埋める秋桜
鶴ヶ曾根 斉藤初子
野牡丹の色褪せぬまま散り急ぐ
採血の痕黒々と秋深む
「評」なるべく説明でなく、感性にひびく
言葉でお作り下さい。

三郷市

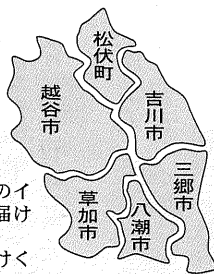
○第8回ふれあい広場・ふくし大会
日時 11月8日(日)、午前10時30分～午後3時30分
場所 三郷市文化会館、早稲田公園(三郷駅北口下車徒歩13分)
内容 ふくし団体オンステージ、講演「老親の介護で力尽きるまえに」門野晴子<午後2時30分～4時>、ふれあい動物園、フリーマーケット等
問い合わせ 社会福祉協議会 ☎53-4191

吉川市

○吉川市民まつり
日時 11月15日(日)、午前9時～午後3時
場所 栄小学校、沼辺公園、老人福祉センター(吉川駅北口、ネオポリス行きバス終点下車徒歩1分)
内容 交通安全パレード、ポニー乗馬体験、ミニSL、マジックショー、各種模擬店など
問い合わせ 吉川市市民参加推進室 ☎82-5111 ☎161

行ってみたいな となりまち

近隣4市1町のイベント情報をお届けします。
ぜひ、お出かけください。



越谷市

○越谷市民文化祭
日時 11月20日(金)～23日(祝)、午前10時から
場所 サンシティ(新越谷駅東口・南越谷駅南口下車徒歩3分)
内容 〈演出部門〉日舞、民謡、吹奏楽、社交ダンスなど、〈展示部門〉絵画、彫刻、書、写真など(入場無料)
問い合わせ 越谷市教育委員会社会教育課文化振興係 ☎64-2111

草加市

○国際ハーブフェスティバル1998-草加市
日時 ①11月20日(金)、午後6時から、②21日(土)、午後6時30分から、③22日(日)、午後1時30分から
場所 草加市文化会館(入場無料・整理券必要)
内容 ①オープニングコンサート、②フェスティバルコンサート、③ファイナルコンサート
問い合わせ 草加市コミュニティ・文化課 ☎22-0151 ☎1592

松伏町

○「Hot Holy Night 聖・夢空間」
日時 12月20日(日)、午後5時開演
場所 田園ホール・エローラ(北越谷駅東口から「エローラ行き」バスで中央公民館前下車)
出演 林隆三、SIP(ゴスペル、アカペラ等)
入場料 大人3000円(ペア5000円)、学生(高校生まで)1500円、10月16日から発売中
問い合わせ 文化振興事業団 ☎92-1001 ※未就学児の入場はご遠慮ください。



南後谷の地名 その参

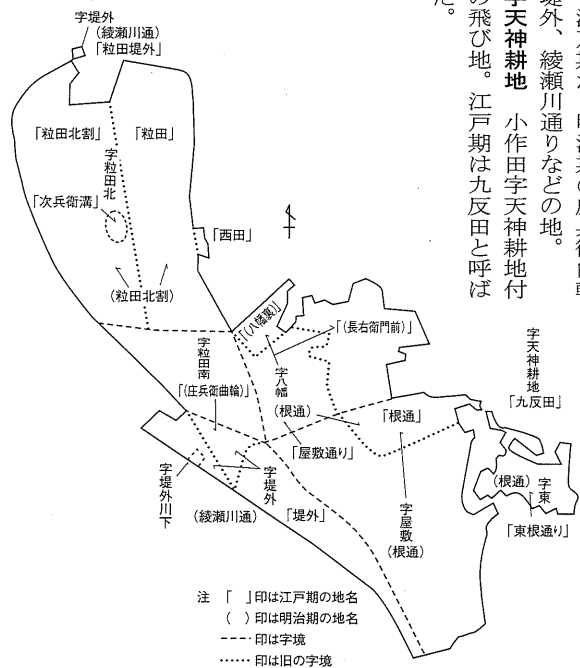
前月号では、諸史料から後谷村及び南後谷の地名を紹介した。それらの地名と区域は、図・表のとおりである。

字粒田北 粘土質の地味に因む地名。粒田北は、江戸期の粒田・粒田北割・西田・次兵衛溝が、明治期に粒田北割となり、大正期ごろより現字地名となる。

字粒田南 江戸・明治期の庄兵衛曲輪の一部が字粒田南となる。曲輪とは、一定の地域を堀や土塁で囲んだ館等の地名で、南後谷にはその他に字屋敷の地を「松土手」と呼称する土手で囲い堤がしてあった。

字八幡 鎮守八幡神社が所在することにより地名。江戸期の八幡・長右衛門と屋敷通りの一部が、明治期に根通りとなり、大正期ごろに現字地名となる。

字東 集落の東に位置することにより地名。江戸期は東根通り、明治期に根通り、大正期ごろに現字地名となる。



南後谷の字地名変遷		地名
貞享元年(1684)	検地帳	東根通り 屋敷通り(屋敷通り)
同	同	庄兵衛曲輪 粒田(つふた・つふた)
同	同	粒田北わり 堤外綾瀬川通り 八幡裏 長右衛門前 根通り 九反田
同	同	屋敷検地帳 綾瀬川堤外 庄兵衛曲輪 粒田堤外 屋敷通り
同	同	雑種検地帳 綾瀬川堤外 庄兵衛曲輪 粒田堤外 屋敷通り
宝暦2年(1752)	新田検地帳	綾瀬川堤外
宝暦3年(1753)	新田検地帳	綾瀬川堤外
天明2年(1782)	新田検地帳	字次兵衛とふ(溝)
天保5年(1834)	新田検地帳	字堤外
地租改正(1873)	根通	庄兵衛曲輪 粒田北割 綾瀬川通り 八幡裏 長右衛門前
現 字 地(1998)	粒田南 粒田北 八幡 東 屋敷 堤外 天神耕地 堤外川下	

文芸欄

呉美代選

て下さい。こちらに割りました。

詩

空と雲 南川崎 伊本則子
夕日にかがやいている
虹色の雲
もくもくとわく飛行機雲
まさに昇竜！
空がくれた励ましメッセージだ
《評》イメージが鮮明です。思いは述べない
ほうがよいです。少し削りました。

三すじの糸 大曾根 小倉義翠
チントンシャン
三味の音に魅せられて二十数年
尺八の音に合わせ、バチを持つ舞台
三すじの糸は生きものだ
胴皮、駒、バチ、そして人とが
一体となつて音を生む、今日もまた
三すじの糸にバチを合わせている
《評》発見があります。説明はなるべく控え

短歌

朝な夕な言葉交わしし姫遊ぎ 鶴ヶ曾根 安藤知晃
落葉散りばう道に佇む
木曾根 高谷多門
ひこばえのふるさとの田の畦行けば
細くなりゆく虫たちの声
浮塚 金子壽一
双眼鏡のぞきし妻が白サギの
脚細いのねと一言つぶやく
二丁目 田中 忠
風かおる文化のよき日菊の会
受賞の花に朝日かがやく
南後谷 杉村セツ
交流会係の通える校舎で
昔ばなしに時を忘れる
南川崎 小野塚喜代子

俳句

画面より飛び出だし雨の降りかかる
こと荒れる台風被害出つつ
西 袋 鈴木厚子
鉢植えの小菊の開花待ちこがれ
一枝手折り我が部屋に挿す
八潮五 小島しず子
今年またコスモスの花摘み折りぬ
休耕田ののどかな屋に
柳之宮 平沼良子
父母逝きて夫と巡る霊場の
結願成りて合掌を受く
大曾根 宗像ゆき子
屈むればわれを隠せり藤袴
群れ咲く庭の小さき花開
二丁目 田中祐子
二度寝する姑起きやらず待つ朝
金木犀の香の匂うなり
二丁目 田中元三
職捜す身に短日は怨めしく
紅葉愛でるゆとりなぞなし
野仏の頭上 対の赤とんぼ
二丁目 平井石龍
くるくると帯解くことく柿を剥く
瓢箪を太らせ老いの佳き日和
八潮六 藤崎政子
空ベッドそごだけ秋の冷気あり
八潮五 西森八重子
小春日は訪ねたき先あまたあり
八 條 杉村知香
なべてみな炎え立ち競う庭紅葉
柳之宮 加藤龍子
我が影の老いし姿や秋の月
八潮一 鈴木多津子
落人の里の歴史や茅の屋根
八潮八 浅田淑子
菊薫り笛の音あやうる江戸囃子
八潮七 小倉孝義
一掬の琵琶湖の水よ秋深し
八潮五 林 悦子
野仏の頭上 対の赤とんぼ

皆さんの投稿をお待ちしています。市民の方ならどなたでも結構です。ぜひお寄せください。
【応募先】〒3408588八潮市中央一丁目二番八潮市役所広聴広報課広聴広報係

吉川市

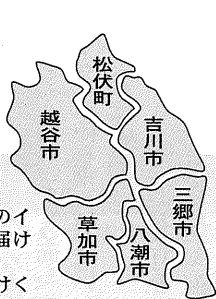
○第4回吉川なまずの里マラソン参加者募集
日 時 平成11年4月4日(日) (雨天決行)
場 所 吉川市永田公園
種 目 ハーフ、一般(5km)、中学生(3km)、小学生(2km)、親子(2km)、車イス(10km・2km)
費 用 一般3000円、高校生2000円、小・中学生500円、親子2500円(子ども一人増につき500円)、車いすの方2000円(申込期限・1月31日(日))
問い合わせ 吉川市総合体育館 ☎82=6800

越谷市

○第4回みんなで作るサンシティ・クリスマスコンサート
日 時 12月23日(祝)、午後3時開演
場 所 サンシティ・大ホール(出演・歌のおねえさん&歌のおかあさん&歌のファミリーほか)
入場料 前売券指定席1800円・自由席大人1500円・小人800円(当日券は各200円増し)
問い合わせ 越谷コミュニティセンター ☎85=1111

行ってみたいな となりまち

近隣4市1町のイベント情報をお届けします。
ぜひ、お出かけください。



松伏町

○第1回松伏町キャピック展
社会復帰を目指す全国の刑務所受刑者の作品を展示・即売会を開催します。
日 時 12月19日(土)・20日(日)、午前10時～午後4時(雨天決行)
場 所 松伏町B&G海洋センター
内 容 家具・風呂おけなどの木工製品、革製品、金属製品、食料品など
問い合わせ 松伏町企画課 ☎91=2711

三郷市

○鷹野新春劇場『長谷川劇団公演』
日 時 平成11年1月17日(日)、午後1時30分開演
場 所 三郷市鷹野文化センター
交 通 武蔵野線三郷駅から金町駅行きバスで「八木郷橋」下車徒歩3分
演 目 「雪の渡り鳥」
入場料 無料(要整理券・12月5日(土)から配布)
問い合わせ 三郷市鷹野文化センター ☎56=9010

草加市

○第30回草加市農業祭
日 時 12月13日(日)・午前9時から
場 所 草加市高砂小学校校体育館・校庭
内 容 自慢の農作物を格安で即売。また、先着200人に市内産のコシヒカリ(450g)のプレゼント。おにぎり・クワイの揚げ物の試食もあります。
※当日は車でのお来場はできません。
問い合わせ 草加市農政課 ☎22=0151 ☎3681